# 『脱温暖化推進員フォーラム2018』開催

## 活動の活性化ねらい熱く議論

### 3つの分科会で情報交流広がる

現在、2600人余りの地球温暖化防止活動推進員と26の地球温暖化対策地域協議会、26の公衆衛生推進協議会が、県内各地で温暖化防止活動を展開しています。脱温暖化センターひろしまは、互いの活動や課題、情報などの共有および交流を通じて、温暖化防止活動の輪を広めようと、2月9日にサテライトキャンパスひろしまで「脱温暖化推進員フォーラム2018」を開催。各地から約60人が参集しました。

午前中は、「広島県の地球温暖化対策～私たちの役割と期待されていること～」と題して、広島県環境県民局環境政策課の谷本綾子主査から『家庭における省エネ行動の促進強化』に向けた県の取り組みを紹介いただくとともに、私たちに期待することなどをお話しいただきました。続いて、脱温暖化センターひろしまから「SDGs（＝持続可能な開発目標）」に関する情報提供や、今年度、当センターが取り組んだ「地球温暖化防止活動推進員新規養成研修」「パンフレットの作成」「光熱費節約大作戦事業」「うちエコ診断事業」「中国四国地域合同研修会」について報告しました。

午後は、「①学習活動を考える」「②教材・ツール開発を考える」「③推進員の役割と活動を考える」の3つのテーマに分かれて体験交流会を行い、参加者は興味のあるテーマを選択し、現状の振り返りや活動状況の共有、意見交換や企画づくりに取り組みました。

情報提供では推進員の役割を再認識（右）、各交流会の成果を共有するため、参加者が感想などを発表（下）

#### ① 学習活動を考える

所属する団体もしくは自分自身の『強み』を洗い出し、事例を参考に『強み』を活かした企画づくりに取り組みました。

#### ② 教材・ツール開発を考える

「くれ環境市民の会」が不要になったエアバッグを用いて作成したすごろくを体験したり、日頃の活動で活用している教材やツールの紹介や開発コンセプトなどを共有。また、「こんなものがあれば」をテーマにグループでアイデア出しや意見交換を行いました。

テーマの異なる分科会でそれぞれの活動や課題を共有（交流会①上、交流会②中、交流会③下）

#### ③ 推進員の役割と活動を考える

地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく役割を確認し、自身の現状を把握。『弱み』を解決するための重点目標を考えるワークに取り組みました。

参加者からは、「頑張っている仲間の話が聞け、刺激を受けた」「得られた情報やアイデアを仲間に報告し、今後の活動に活かしたい」「推進員として積極的に活動や会議に参加したい」などの声が聞かれ、推進員や地域協議会、公衛協活動の活性化につながるヒントが得られたようです。

当センターでは、今後も交流事業を通じて活動の活性化を図り、温暖化防止活動をより一層推進していきます。

（脱温暖化センターひろしま）

---

## 平成29年度 地球温暖化防止活動推進員 新規養成研修

### 新たに6人の推進員が誕生

脱温暖化センターひろしまでは、平成15年から「地球温暖化防止活動推進員」を養成する研修会を開催しています。平成29年12月8日、新たに6人が広島県知事から推進員を委嘱されました。

研修は、前期（6/2）・中期（6/22）・後期（12/8）の3回に分けて実施しました。前期で地球温暖化の基礎知識や企画づくりの手法などを学び、中期で企画内容を具体化。その後、約5カ月間で実践し、後期で実践結果を報告するというものです。

今回、6人が企画・実践した活動を紹介します。

**■エコの生活で楽しく、健康に!～あなたの家庭から脱温暖化にチャレンジ～**

【くれ環境市民の会／石田美子】

電気やガソリン使用量など、エネルギー使用状況を記録できるシートを作成。消費者協議会や自治会員へ趣旨等を説明し、記録を通じて温暖化防止を考えてもらうきっかけとした。今後は、記録シートを回収・分析し、他の家庭の$CO_2$排出状況と比較した診断結果とともに報告する。

**■大崎上島わくわくフリーマーケット～家で眠っている日用品・雑貨を使ってくれる人に～**

【大崎上島けんこう文化の島づくり協議会／小池信忠・幸川弘子・亀田修子】

『家で使わずに眠っている贈答品に困っている』という町民の声に着目。フリーマーケットを通じて、必要とする人に橋渡しすることで、資源の有効活用によるごみの減量化を図った。趣旨に賛同した町民から171点もの品物が集まり、「商船祭」と「オキウラマルシェ」で出品。事業の継続を求める声が聞かれるなど大変好評で、今後、今回の反省を活かした運営方法を検討していく。

研修で企画した取り組みの実践報告を行う受講者

**■緑のカーテンで地球温暖化防止!!教室の温度を測ってみよう!!**

【布野の食と脱温暖化を考える会／花岡陽子】

三次市立布野小学校で緑のカーテンづくりに挑戦し、7～8月の10時と15時の2回、放射温度計で屋外・葉の表と裏・教室内の温度を測定。結果をグラフ化し、緑のカーテンによる効果を検証した。来年度も継続して取り組めるよう、今後、計画的に学校へ連携を働きかけていく。

**■小学生による緑のカーテンづくり**

【廿日市市公衆衛生推進協議会／河野稔】

「緑のカーテンを作る」ことも温暖化防止活動であることを理解してもらおうと、廿日市市立原小学校の1・2年生と緑のカーテン作りに挑戦。葉が茂ると影ができ、日光を遮ることで室温が下がり、クーラーの設定温度が高くても快適に過ごせることを実感してもらった。今後、来年度の授業カリキュラムに組み込んでもらえないか、学校へ働きかけていく。

（脱温暖化センターひろしま）